

学校法人 新名学園
旭丘高等学校

グローバル時代の私学
高校生の発達と自立を支援

普通科
総合学科
地域単位制
総合高校



Senior High School

ASAHIGAOKA
2016

旭丘高校を 私たち生徒が紹介します



地域に根ざして113年
キャリア教育、サポート教育で
みんなの夢を実現



ホームルームでの交わりが 私を変えた

「自分は一人じゃないんだ!」。そう実感できたホーム
ルームの仲間との交わり。人の役に立てる自分を発見し
て少し誇らしくなり、前向きな自分になりました。

学校生活の根拠地
ホームルームと学校生活は **P3~P4**

わかる授業で実感した 「学ぶって楽しい!」

自分で体験し、仲間と共に考え、「わかる」「できる」を
実感。やる気も生まれ、学ぶ楽しさを知りました。基礎
から学び直し、進路・進学に向けた発展的な学力も身に
つきました。

授業・カリキュラムの特徴は **P5~P15**

言葉や文化の違いを越えて 信頼と未来への絆が

中国での交流を通し、言葉や文化の違いを越えて信頼し
合えると実感。共同授業で、未来を生きる高校生として
「人と人」から「国と国」の関係へと視野を広げて考えま
した。

グローバル教育と生徒参加は **P19~P20**

二つの校地と 充実した学校施設

史跡・小田原城跡と共生する第1校地。里山の自然と
共生する第2校地。二つの校地の特徴を生かし、小田
原のまちを教室として、私たちの多彩で多様な学びの
場がつくられています。

二つの校地と施設は **P23~P26**

生きることと学ぶことが 結びついて拓いた進路

中学校では不登校だった私。高校で仲間や先生とかかわ
り他者と自分を見る目が豊かになりました。「人間のこ
とをもっと知りたい」と大学の心理学科に進学、教師を
目指しています。

ベーシッククラスは **P13~P15**

仲間との友情を深める クラブ活動

同じ目的を持った仲間と切磋琢磨、全国大会にも出場
する運動部から、授業での学びや自分たちの関心のあ
る分野を深める文化部まで、多彩なクラブ活動が展開
されています。

クラブ活動については **P21~P22**

ボクはこうやって 進路を拓いた(卒業生)

生徒会活動を通して「人びとの思いを伝える報道の仕事
に就きたい」と夢をつかみ、大学で学びたい分野を明確
にして志望学科を選択。受験勉強をやり抜く強い意志
を持ってました。

キャリア教育と進路・進学
普通科クリエイティブクラスは **P8、P16~P18**

私たちも 学校を築く一員と実感

他校にはない全学協議会やまちづくりシンポジウム等
への参加を通して、自分の意見を尊重してもらえる嬉
しさと、自分たちが学校やまちをつくる一員であるこ
とを実感しました。

生徒の学校参加・社会参加は **P19~P20**

C O N T E N S

生徒が紹介「これが旭丘高校です」	P 1~P 2
仲間とともに過ごす高校3年間	P 3~P 4
旭丘高校の教育課程・カリキュラム	
普通科	P 5~7
クリエイティブクラス	P 8
総合学科	P 9~12
ベーシッククラス	P 13~15
キャリア教育・進学・進路	P 16~18
グローバル教育と生徒参加	P 19~20

高校生活の華・クラブ活動	P 21~22
二つの校地・二つの学科・小田原のまちが教室	
第1校地(城内キャンパス)	P 23~24
第2校地(久野・荻窪キャンパス)	P 25~26
体験入学セミナー案内	P 27
無償教育と学費支援制度	P 28
建学の精神と教育目標をたずねて	P 29
中学生のみなさんへ(学校長の言葉)	P 30
2016年度生徒募集、体験入学日程、交通案内	裏表紙

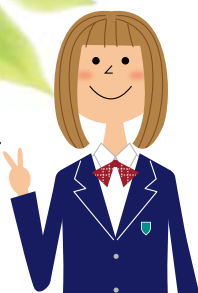


班長になって 人と共同する大切さを実感

総合学科 3年 女子 Mさん

中学までは人との関わりが苦手で、何もしてこなかった私。旭丘の学校説明会で班長会の活動を生き生き語る先輩たちの姿に触れ、自分も先輩たちのように変わるかもしれないと思い、入学後に班長に立候補しました。班長の仲間と共にクラスの問題や課題に取り組むことを通して、みんな同じ悩みや困難を抱えていることに気づき、友だちと協力し共同することの大切さが分かってきました。「こんな自分でも人の役に立てる」と思ったときは嬉しく、少し自分が誇らしく感じました。

仲間とともに過ごす 高校3年間



友だちがいる、先輩がいる、先生がいる
— 私たちを支え、変えてくれたホームルーム

私たちの学校生活の根拠地はホームルームです。ホームルームのなかに班長会をつくり、日常の問題・課題を自分たちで解決し、目標と規律をもって取り組んでいます。

さらに、ホームルームを基礎にして学年生徒集団・全校生徒自治集団が形成され、生徒会総務の方針のもと、体育祭・文化祭・社会見学・修学旅行などの行事に取り組みます。

ホームルームは、私たちが安心できる居場所であり、多様な個性のある仲間との交わりや共同生活を通して成長する場です。



ホームルームが 一つになった体育祭

普通科 3年 男子 Sくん

体育祭に全員参加を目標に取り組もうという方針が、生徒会総務から全校のホームルームに提起されました。私たちのクラスでも、班長会を中心に、欠席の多い仲間も参加し運動の苦手な仲間も楽しいと思う体育祭にするにはどうしたらいいかを考えました。日々、欠席したクラスメイトには班長が電話連絡をし、みんなの得意分野を考えて選手決めや製作物の担当を決めました。そんな取り組みを通して、クラスメイトの気持ちが一つになっていきました。私自身、相手の気持ちになって考え、それを通して自分やホームルーム、学校のこともあらためてとらえ直していくことができるようになりました。



START

4月

- 入学式 (新入生オリエンテーション)
- 身体測定
- 歯科検診
- 内科検診

7月

- 期末試験
- 地域教育懇談会
- 視聴覚教室
- クラブ合宿
- 全学協議会
- 避難訓練

10月

- 中間試験
- PTS (三者教育懇談会)

1月

- 全学教育研究集会 (第3部)
- かるた会

8月

- 全学教育研究集会 (第1部)
- 平和集会
- クラブ合宿

11月

- クローバー祭 (文化祭)
- 全学教育研究集会 (第2部)

2月

- 卒業試験
- 卒業を祝う会
- PTA総会
- 進路適性検査

5月

- クローバー祭 (体育祭) (進学者オリエンテーション)
- 進路適性検査
- PTA総会

6月

- 中間試験 (就職オリエンテーション等)
- HR懇談会
- 新聞コンクール
- 進路講演会

9月

- 就職活動
- 修学旅行 (2年)
- 社会見学 (1・3年)

12月

- 期末試験
- スキー教室
- 生徒総会
- 全学協議会
- 視聴覚教室

3月

- 卒業式
- 年度末試験
- 生徒総会

GOAL

School Life

たくさんの学び そして、夢がふくらむ学校行事が 待っています

体育祭・文化祭・社会見学・修学旅行・卒業を祝う会などの行事にもホームルームを基盤に取り組みます。私たち生徒自身が目標をたて、クラス全員が活躍できる場をつくるよう企画を工夫。楽しく充実した高校生活を実現しています。

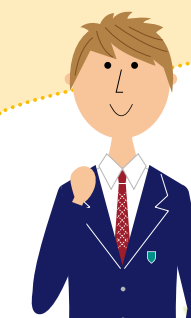
student VOICE



過去の反省と正しい歴史を学び 未来の平和をつくっていききたい

普通科 3年 男子 Kくん

長崎で被爆者の方々の話を聞き、原爆の残した傷跡に触れて、「かつて多くの国と戦い、無数の人々が戦争で命を落とし、心と体を傷つけた。戦争が生み出した数々のむごい光景を決して忘れない、決して繰り返さない。」という平和への切なる願いを感じました。過去の反省と正しい歴史を学び、次の時代を作り上げていくことが日本に生まれた私たちの責任だと思います。今の自分たちの住む世界に戦争があっているのか、核兵器が存在しているのか。私たち一人ひとりの力は小さいけれど、被爆者の声を聞き、平和について考え、話し合い、語り継ぎ、力を合わせて未来の平和をつくっていききたいと思います。



ナガサキ修学旅行 人類の過去・現在・未来を考え、 地球市民として生きる羅針盤を手に

ナガサキ平和学習

- 長崎原爆資料館…被爆体験を聞く、資料館見学
- 原爆の傷跡を訪ねて…碑めぐりとゼミナール
- 爆心地公園で平和集会…平和の歌、黙とう、平和宣言、折り鶴奉納
- まとめの集い…碑めぐり・ゼミの感想交流、50字メッセージづくり
- 宿舎にて、長崎の高校生 (国連平和大使) との交流

普通科

学びの基礎を
がっちりつかみ
仲間と共同して
生きる力を



カリキュラムの特徴

- 知を育てる一般教科・普通科目群。
- ホームルームを土台に、学習と進路に向かう共同を深める。
- 仲間を支えられ、仲間を支える関係の中で自分の良さを発見し、聴き取り、表現し、対話する交わりの活動が「学力の土台」をつくる。
- 2年次から始まる「進学・進路選択講座」＝現代社会を「生きる力」と進学・進路をひらく力を培う。
- 夏期・冬期・春期休暇および土日に「進学者特別講座」あり。
- 1年「交わりと自治」、2年「平和と人権」、3年「進路と生き方」をテーマに平和・人権・環境など地球規模の課題を学ぶとともに、身近な社会の課題をテーマに、問題解決の力を培う旭丘高等学校独自の総合学習。
- 不登校生徒の一般クラスへの特別推薦枠あり。

普通科の進学・進路選択講座

普通科には、一人ひとりの学びの関心と進路の目標に合わせて学ぶことができる、普通科目を中心とした多彩な進学・進路選択講座が2年次・3年次に開講されています。



楽しくって頭も働く班学習

普通科 3年 女子 Tさん

私は現代社会でジェンダーの問題を取り上げた授業が印象に残っています。班になって論議して意見を出し合ったのですが、自分は班長だから自分が積極的に意見を言わないと出ないかなと思っていたら、普段発言しないような人も意見を出してくれました。他の班からも活発に意見が出て、他の人の意見を聞きながら考えを深めることができました。班学習という形をとったから意見が出しやすかったし、テーマも自分たちの生活に関係のあることから、みんな関心を持って真剣に考えていたと感じました。

工夫された授業で学習体験が広がった

普通科 2年 女子 Hさん

1年生のときのバイオリンの授業が印象に残っています。普通、お稽古ごとに熱心な家の子でないと習う経験はないだろうし、少し難しいイメージがあって、授業でやらなければほとんどの生徒が触れることはなかったと思います。でも、やってみると、みんなが初めてだから苦手意識もなく学習に入っていくことができ、みんなそれぞれにできてミニ演奏会などもし、楽しい授業でした。こういう工夫した授業を通して自分たちの学習体験を広げてくれるところは旭丘高校の良いところではないかと思います。



3年間のカリキュラム

1年	2年	3年
国語総合	現代文A	現代文B
地理A	世界史A	日本史A
数学Ⅰ	数学Ⅱ	現代社会
化学基礎	物理基礎	数学Ⅱ
体育	生物基礎	科学と人間生活
保健	体育	体育
家庭基礎	保健	英語表現
社会と情報	家庭基礎	美術概論
コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅱ	進学・進路選択講座Ⅲ
音楽Ⅰ	進学・進路選択講座Ⅰ	進学・進路選択講座Ⅳ
総合A 総合B	進学・進路選択講座Ⅱ	進学・進路選択講座Ⅴ
ロングホームルーム	総合A 総合B	総合A 総合B
	ロングホームルーム	ロングホームルーム

進学・進路選択講座で国語の力に自信がついた

普通科 3年 女子 Oさん

私は、大学進学を希望していますが、国語の力に自信がなかったもので、2年・3年と連続で進学・進路選択講座の国語演習の科目を受講しています。2年生の時は、先生が基礎と復習を徹底してやってくれて、自分なりに「できる」という手ごたえをつかむことができました。いまは、大学進学に向けた小論文指導を受けています。以前は何か文章の形だけにとらわれていた私ですが、やはり、まず自分が何を表現したいのかをしっかりとつかみ整理すること、どうしたら相手に伝わるかという読み手の立場で考えることなど、文章をつくることについて様々なとらえなおしができてきています。



進学・進路選択講座			
国語演習（語彙）	地理演習（地理B）	世界史演習（世界史A）	
国語基礎Ⅰ	美術講座Ⅰ	日本史演習（日本史B）	
国語演習（現代文読み取り）	書道講座Ⅰ	数学活用	
国語演習（古典講読Ⅰ）	家庭講座Ⅰ・Ⅱ	数学Ⅲ	
国語基礎Ⅱ	情報講座Ⅰ	生物演習	
英語基礎Ⅰ・Ⅱ	スポーツ栄養学	物理演習	
英語演習Ⅰ・Ⅱ	国語演習（論文・一般教養）	美術講座Ⅱ	
数学A	国語演習（古典講読Ⅱ）	書道講座Ⅱ	
数学B	英語基礎Ⅲ	家庭講座Ⅲ	
社会演習（時事問題）	英語演習Ⅲ	情報講座Ⅱ	
総合A			
里山再生 森林学習	手しごと 木工陶芸	農作 からだ	共同食事
総合B（ロングホームルーム・自治と学び）			
1年次一交わりと自治 2年次一平和と人権 3年次一進路と生き方			

学び直しを土台に進路（進学）を拓く力を育てる 2015年度より普通科クリエイティブクラスを開設

クリエイティブクラス（コース）は、基礎学力の回復に重点を置き、それを土台に応用・発展の学力を培うクラスです。

本校では、「言語の力」と「数量を認識する力」を学力形成の大きな土台ととらえ、単なるドリル学習ではなく、他者との「交わり」を通して豊かな言語を形成する授業や、「数量」の認識を生活や現実の事物と結んで形成する授業を創造しています。また、認識の能力が、身体能力や感応・表現能力、労働能力や社会的能力と関連しながら形成され、発展していくものととらえて授業・カリキュラムづくりを進め、生きる力、進路を拓く力につながる総合的・発展的な学力形成を図ります。

1年次は基礎学力の回復を主軸に置き、2年次からは、さらに発展的な学力に対応する学習（一般クラスへの移行を含む）と継続して基礎学力の回復を図る学習のどちらもが選択できるようにカリキュラムを構成します。

クリエイティブクラス（コース）は、小・中学校の時に何らかの理由で学習への困難や苦手意識を抱えて来た生徒で、高校生活であらためて学び直し、積極的に進路を拓きたいという意欲を持つ皆さんにお勧めです。



クリエイティブクラスの 3年間のカリキュラム

1年	2年	3年
国語総合 ③	現代文A ③	現代文B ③
言語Ⅰ ②	言語Ⅱ ②	日本史A ②
地理A ②	数量Ⅱ ②	現代社会 ②
数学Ⅰ ③	世界史A ②	家庭基礎 ②
数量Ⅰ ②	物理基礎 ②	芸術選択 ②
化学基礎 ②	生物基礎 ②	科学と人間生活 ②
体育 ②	体育 ③	体育 ③
保健 ①	保健 ①	英語表現Ⅰ ②
社会と情報 ②	コミュニケーション英語Ⅱ ③	進学・進路選択講座Ⅲ
コミュニケーション英語Ⅰ ③	進学・進路選択講座Ⅰ	進学・進路選択講座Ⅳ
音楽Ⅰ ②	進学・進路選択講座Ⅱ	進学・進路選択講座Ⅴ
総合A ②	総合A ②	総合A ②
総合B ①	総合B ①	総合B ①
ロングホームルーム ①	ロングホームルーム ①	ロングホームルーム ①



学び直しで積極的になれた

普通科 2年 男子 Rくん

僕は数学でつまずき、分からないまま高校に入ってきたのですが、あらためて数式の意味を実際の物事や生活と結びつけて教えてくれる旭丘の授業でよく分かり、「学び」ってなんだろうと考えました。小学校のころの算数はできていたのだけど、今から思うと理解しないまま、暗記していただけ。だから中学校でつまずいたのだけど、高校で学び直しができたことであらためて学習全般に積極的に取り組めるようになりました。

旭丘独自のユニークな授業 — 総合学習〔総合A・総合B〕

総合A

▶ 普通科の授業

1年次 : 共通カリキュラム

2・3年次: 選択講座

自然環境に恵まれた第2校地（久野・荻窪キャンパス）の条件を存分に生かし、生活と労働の原点を知る体験的総合学習—森林学習、からだ、農業、陶芸、食、木工などの共通履修と選択授業が展開されています。

総合B

▶ 普通科・総合学科とも実施

学年集団で、学年ごとにテーマ（1年：交わりと自治、2年：平和と人権、3年進路と生き方）をもち、行事やホームルーム・学年の自治活動と結んでおこなわれるキャリア教育としての3年間のカリキュラムをもった授業です。

普通科・総合学科の選択授業で 武道（相撲・剣道）の授業を開講

普通科・総合学科ともに、選択科目のなかに武道の講座（相撲・剣道）が開講されています。

今後は、武道の授業の必修化も計画されています。

先輩が講師になって授業を

総合学科 卒業生 女子 Iさん

総合学習の授業で、スポーツインストラクターをやっている先輩が講座を開いてくれました。年齢の近い先輩が生き生きと自分の仕事のことを話し、実際に実技の指導してくれる姿はとてもかっこよく、普段の授業にも増してとても魅力的でした。もともとスポーツ関係の仕事をしたかった私は、このとき進路の目標が固まり、スポーツや健康、身体に関する学習に積極的に取り組み、体育系の短大への進学を決めました。

素材と向き合う陶芸の授業

普通科 2年 女子 Gさん

粘土に触り、こねてみて、最初は硬くてやり辛かったけれど、水を混ぜてうまく調整すると柔らかくなりました。逆に間違えて放置してしまうと固くなり、こねるのが難しくなります。ものをつくる時、素材をしっかり理解し、その性質をつかむことが大切だということを学びました。また、技術としての陶芸は、ただ自分の思うままに作るのではなく、決まった大きさ・色・柄のものを大量に作ることが求められ、非常に難しいということを実感しました。こうした体験をするなかで、人間国宝の人が、型にはずれることがなく正確に手書きで模様をつけ、間違いなくお皿を製造するすごさに鳥肌が立ちました。

生き物を育てる楽しさを実感

普通科 2年 男子 Fくん

1年間授業を受けて、農業がとても楽しいと思うようになりました。正直言うと、初めは土の中に虫がいたりするのが嫌で正直やりたくないと思っていたのですが、自分たちが一生懸命育てれば少しずつではあるが野菜たちが成長するんだということを知って、だんだん楽しくなって来ました。この体験から、物事を見た目とかで勝手に判断するのではなくて、やってみなければだめだと思いました。



心と身体のコントロールを学んだ

普通科 2年 男子 Gくん

相撲の授業では、先生が、押す、引く、投げるなど、身体の一つひとつの動作をていねいに教えてくれたので、自然と相撲の世界に入っていくことができました。相撲はスポーツのなかでも最速で勝敗が決まる競技で、立会いに全神経を集中し、力を全力で出し切ります。そして、こうした激しい瞬間と共に、全体として礼を重んじ、相手への気配りを大切にしています。このことが普段の自分の行動に影響を与え、心と身体をコントロールしたり、相手への気配りができることにつながったと感じています。

総合学科

自分に適した
学びを見つけ
確かな進路を
切り拓く

カリキュラムの特徴

- 学力の土台となる一般教科・普通科目群。
- 「情報ビジネス」・「福祉」・「健康」・「環境」・「異文化理解」など、進路・職業と現代を生きる課題をテーマにした少人数制の総合選択科目・自由選択科目から、自分だけの時間割をつくって学ぶ。
- 大学・短大進学を目標に、自分の学びたい分野を発見し、進学対応のカリキュラムで学ぶ進学クラス（進学クラスには特待生制度あり）。
- 1 年次「産業社会と人間」（原則履修科目）で職業観・労働観を学び、進路と結んだ3年間の学ぶ課題を見いだす。
- 3 年次「課題研究」（インターンシップ）では、働く体験を通して3年間の学習を振り返り、進路への目標を確かなものに。
- 学習・進路相談はスクールカウンセリング体系のもとで、ホームルーム担任・教科担任とキャリアカウンセラーによる指導と援助。
- 旭丘高等学校だけのユニークな学科「総合技術科」＝コンピュータ制御・製図・構造力学など現代社会における生活・生産技術の基礎を学ぶ。
- 不登校生徒の特別推薦枠あり。

進学クラスにはこんな特徴があります

大学や短大への進学を目標に、高校3年間を過ごす人たちのためのクラスです。履修科目としては、大学進学の基礎となる英語・国語が共通履修科目として増単位されているとともに、2・3年次の選択科目で受験対策やそれぞれの進路にあった科目の選択ができます。

さらに、授業やホームルーム、生徒会の活動や学校参加・社会参加の活動を通して進路への課題意識を深め、学びを創造し、将来、自分のつきたい職業を見いだすことにより、上級学校で学ぶ専攻分野を決めていく新しいキャリア教育が特徴です。

一般入試・推薦入試・AO入試など多様な入試制度を活用し、一人ひとりに合ったキャリア・ガイダンスが受けられます。

自分で考える 道を拓く
“生徒が主人公”で力をつける

総合学科 卒業生 K さん

“生徒が主人公”の旭丘高校で、私は自主的に行動することを学びました。総合学科には選択科目が多く、自分で本当に何をやりたいのかを考えなくてはならない場面がとて多くなりました。しかし、一年の時から積み上げて来た自分で自分の道を切り拓く力・考える力が自然に身についていたため、自分がやってみたい学習内容を選び進路を決めることができました。私は、アメリカの大学に進学し、今はアメリカで結婚して家庭を持っています。みなさんも、旭丘での学びをテコに、大きく羽ばたいてください。



3 年間のカリキュラム

1 年	2 年	3 年
産業社会と人間	世界史 A	現代社会
国語総合	日本史 A	体育
数学 I	科学と人間生活	家庭総合
化学基礎	体育	芸術選択
体育	保健	総合選択科目
保健	家庭基礎	自由選択科目
コミュニケーション英語 I	総合技術 II	課題研究 (インターンシップ) (職業体験学習)
社会と情報	総合選択科目 ※進学クラスは現代文 B とコミュニケーション英語 II が必修	総合 B
簿記	自由選択科目	ロング ホームルーム
総合技術 I	総合 B	
自由選択科目	ロング ホームルーム	
総合 B		
ロング ホームルーム		

進学・進路選択講座

進学対応の科目	進路探求型の科目		
総合国語 (受験国語) 探求国語 (進学基礎) 総合英語 (受験英語) 探求英語 (進学基礎) 数学演習	マルチメディア活用 ビジネス基礎 プログラミング ビジネス情報処理 I 税務会計 社会福祉援助技術 I 社会福祉基礎 I 保育・調理 生活の数学 I ルポルタージュ I 書道を楽しむ I 器楽講座 I 時事問題 歯車のしくみ 小田原の地域史 数学 II ビジネス情報処理 II プレゼンテーション	マーケティング 経営分析 情報の活用 琉球の文化 社会福祉援助技術 II 社会福祉基礎 II 被服の基礎 人間のからだと環境 バイオテクノロジーと生活 生活の数学 II ルポルタージュ II 書道を楽しむ II 器楽講座 II 表現と創作 数学 A 生物 I コンピュータ技術	電気と制御 紙工芸 生活の中の化学 藤工芸 アートからの世界 I 健康とスポーツ I 日本国憲法 総合演劇 生命操作と倫理 異文化理解 日本史 B 数学講座 物質の化学 自然や社会の問題を 考える数学 宗教と私達 哲学・倫理学入門 古典講読
自由選択科目 (講座)			
資格の簿記 I 英会話 I スポーツ特講 I A スポーツ特講 I B スポーツ特講 I C 現代文を読む I 一心と言葉 物質の化学 受験の英語 I 自然や社会の変化を とらえるメガネ	資格の簿記 II 基礎の英語 II 受験の英語 II スポーツ特講 II A スポーツ特講 II B からだ II 現代文を読む II 一心と言葉 自然や社会の問題を 考える数学	探求陶芸 製図 スポーツ科学 スポーツとオリンピック スポーツと特講 III 労働と法律 物質の化学 受験の英語 III	
総合選択科目・学校必修科目			
課題研究 インターンシップ (職業体験学習)			
総合 B (ロングホームルーム・自治と学び)			
1 年次一交わりと自治 2 年次一平和と人権 3 年次一進路と生き方			

多彩で多様な 総合選択・自由選択科目

総合学科で主に2・3年次に履修する総合選択科目・自由選択科目群のなかには、普通科目の他に、福祉・保育や簿記・会計、コンピュータ、自然環境、国際理解、健康、職業と技術などに関する様々な科目が配置され、生徒のみなさん一人ひとりが自分の学びの関心や進路の課題に合わせて選択し、自分のオリジナルな学習計画をたてて学んでいくことができます。

旭丘にしかないユニークな授業 ①

国際化に対応する 中国語などの選択講座も

「外国文化」「異文化理解」「中国語」「イタリア語」「韓国語」などが開講されています。

旭丘にしかないユニークな授業 ②

世界標準の授業「総合技術」

「技術に関する科学的認識」「生産にかかわる技能」「適切な技術観・労働観」を育てることを目的として設けられたユニークな教科「総合技術科」があります。他校にはない本校独自の挑戦ですが、高等学校段階の普通教育に技術教育を位置づけるのは、世界標準です。

特別奨学生制度

総合学科進学クラスには、特別奨学生制度があります。卒業後大学進学をする人を対象にしたもので、高校3年間の入学金・施設拡充費と授業料について給付型の奨学金が支給されます。「学業成績にかかわる特別奨学生制度」（中学校時代の成績あるいは旭丘高校の入試の成績が基準を満たしている人が対象）と「スポーツ実績に係る特別奨学生制度」（中学校時代のクラブ活動での戦績が基準を満たしている人が対象）の二つがあります。一人ひとりの可能性を伸ばしてくれる旭丘高校の教育環境で進学に向けた挑戦をしたいのだけれど、学費の壁があるという人にお勧めの制度です。



選択講座には 将来の生きる力に繋がる学びが

総合学科 3年 Mくん

私は総合学科の幅広い総合選択講座を受講して、学ぶことの楽しさを感じることができました。「異文化交流」という講座では、グループになって国の文化を調べて発表しました。発表のためにみんなで懸命に調べることで、自分なりの表現ができる楽しさを知りました。また、「器学講座」では両手でピアノ曲が演奏できる喜びを知り、音楽に一層興味を抱くようになりました。「武徳」では剣道を通して呼吸法を学び、精神を落ち着かせる為にゆっくりと呼吸する事や礼儀作法を通して相手を敬う気持ちを知り、自分の生活を改めて振り返りました。選択講座には、将来の生きる力に繋がる学びがありました。

中国語講座受講生のVOICE

- お隣の中国の言葉はほとんど知らなかったけど、いまは以前より中国を身近に感じるようになりました。
- 中国の切り絵や食文化に触れることで、楽しみながら中国のことを学習できました。
- 中国にぜひ行ってみたい。そして、習った中国語を使って会話したいです。
- 進路先の大学でも中国語を継続して学習したい。また、検定試験にチャレンジしたい。

自分の将来と授業が結びついた

総合学科 3年 男子 Jくん

総合技術の「ブリッジ・コンテスト」の授業は印象に残っています。班ごとに作った橋の模型にペットボトルを吊るし、どれだけたえられるかを競い合うのです。どこまでたえられるかドキドキして、皆すごい熱気でした。みんなと一緒に社会に必要とされるものをつくったので、働くことの意味や社会と結びつけて、技術を学ぶことができました。



体験し、共同し、地域や社会と向き合う 地域が学校―「課題研究」(インターンシップ)

総合学科3年次には、地域での職業体験学習が年間を通じた授業として必修化されています。5月にオリエンテーションを行い、6月から12月まで毎週1回1日同じ職場で働く体験をします。実習ノートに体験先の方のコメントをもらい、先生方からも指導を受けます。3学期にはそれぞれの職場で体験してきた学びについて発表・交流を通して深めます。職業観・労働観を培い、働くことに必要な専門性を身につけるための学びへの認識を深めます。

なお、普通科にも「社会見学」があり、同様に職業観・労働観を培う場となっています。



保育

※東富水幼稚園、報徳幼稚園、酒匂幼稚園、矢作幼稚園、前羽幼稚園、下中幼稚園、みみづく幼稚園、富水保育園、みどりこども園、海の星幼稚園、南鴨宮あいじ園、保育室あんふん茅ヶ崎、保育室あんふん

高齢者福祉

※介護老人保健施設わかば、デンマークINN小田原、グループホームばば箱根板橋、ジョイアス城山、ほっとステーションDay緑、平塚福祉相談センター、すずろ開星亭、すずろほたる亭、すずろ蓮笑亭、すずろかしら樹亭、介護老人福祉施設メゾン・二宮

障害者福祉

※梅香園、ありんこホーム、ほうあん第一しおん

販売

※ユーコープ寿町店、小田原百貨店、ラケット屋、伊勢治書店、丸高食肉店、野原落花生店、アンティバスタ、茶加藤、グランヴェール、ミートショップニッパイ、花小代

事務

※医療生協かながわ おだわら診療所、小田原市立図書館、生協神奈川小田原センター、小田原青色申告会、神奈川土建一般労働組合、医療生協かながわ 平塚診療所、神奈川土建茅ヶ崎寒川支部、「水保」を子どもたちに伝えるネットワーク

整備・製造

※田中モータース、スプレーズ、フジックス伊勢原工場、井原設備

農業・水産

※関野農園、臼井牧場、志村屋米穀店、柏吉農園、長谷川農園、AgriWays、監物フラワー、開成農園、パソボラサークル、ファームスクエア丹沢の森

旅館・ホテル

※さざ波、しょうとく丸、箱根小涌園、箱根小涌園ユネッサンイン、湯河原温泉ちとせ、彌樂館、吉池旅館

美容

※HAIR SPACE OTTIMO、ヘアーズわーく Come ST、ビューティスポット NEO、ミツコ・ビューティ、髪切屋敷 鹿鳴館、T・Iクラシック伊勢原店、アニマート、美容室シェイプアネックス、J-mode、SOHA NEWYORK 渋沢店、美容室 BULB、Bulan Mati

動物ペット

※湘南ワールド、ペットホテル イルマール

その他

※コロナキャットボウル、子どもと生活文化協会、アトリエ・ナカムラ、崎村調理師専門学校、指帆亭、東華軒、タウンニュース社、大勝軒、伊達建設、エース鍼灸接骨院、光ドライセンター、湘南藤沢徳州会病院、つばさ歯科

進路の基礎を築いてくれた農業体験

総合学科 卒業生 Mさん

私は、課題研究(インターンシップ)でしか体験できない事に挑戦したいと、牧場での体験を選択しました。実際に牧場で牛の世話をさせていただき、その御主人に農業の大切さを教えていただきました。「地味な仕事は多いが、根気強さが一番だよ」と言われた言葉が印象に残っています。体験先で学んだ事は、仕事をしてお金を貰うまでの大変さ、自分の意思を相手に伝える事の大切さ、自分の感情に負けないで我慢する事、また、仲間と協力しないといけない事もあるということです。この体験で学んだことを自分の将来に向けての軸にして、何事にも負けない心で自分の夢を追いかけて行きたいと思っています。



Curriculum

学科・コース
カリキュラムの紹介

ベーシッククラス

自分のペースで
一歩ずつ前進
「不登校」からの
学び直し



カリキュラムの特徴

- ベーシッククラスは30人以下学級の少人数編成（通常学級40人）で、みなさんの安心・安全の学校生活と学びのための居場所づくりに重点をおいています。
- 原則として2年次・3年次に進む際に、通常（一般）クラスに移行することを大きな目標にしています。そのためベーシッククラスのカリキュラムは、全日制高等学校の通常のカリキュラムを基にしています。
- ベーシッククラスの独自教科目として、「ことばと交わり」（言語の認識を育てる）、「からだ」（文化としての身体を育てる）、「基礎の数学」（数量の認識を育てる）を学校設定科目として配置しています。（右記カリキュラム表のピンクの部分）
- ベーシッククラスは通常のクラスと同様にホームルーム活動を基礎とし、生徒の育ち合いの力を通して一人ひとりの生徒の成長・発達を図ります。また、通常（一般）学級同様、委員会やクラブ活動、生徒会活動、地域活動などに参加します。こうした学校参加・社会参加を通しての、未来の主権者として自立と社会性、進路を開く「キャリア教育」をとりたてて重視しています。
- ホームルームの集団的活動とともに、みなさんの人間としての発達をサポートする学校教育カウンセラーが配置されています。



人と関わるのが好きになりました
ベーシッククラス 卒業生 女子 Mさん

中学時代は人前に出ることが怖くて、遅刻や欠席を繰り返していました。そんな自分を変えたいと思い、高校では班長として活動。苦しくなって投げ出したくなる時もありましたが、クラスメイトとかかわり合う中で、みんなも同じように苦しい中でがんばっていると実感し、乗り越えることができました。そして、だんだんと人と関わるのが好きになりました。さらに表現力を身につけたいと思い、大学では演劇を専攻に選びました。



言葉一つひとつの大切さに気づいた

ベーシッククラス 2年生 女子 Oさん

「からだ」や「ことば・交わり」の授業を通して自分が成長したと思うのは、だれかと関わり助け合うことを自分からするようになったこと。そして、心が解放されているという感覚がどのようなことなのか、理解できるようになったことです。言葉は人を傷つけることもできてしまうので、相手にかける言葉一つひとつを、一度自分の中で探す過程がすごく大切だと気づきました。これからの授業で、もっとコミュニケーション力をつけたいと思います。



普通科ベーシッククラス

1年	2年	3年
国語総合	現代文A	現代文B
地理A	世界史A	現代社会
数学I	日本史A	数学II
体育	数学II	体育
保健	体育	科学と人間生活
社会と情報	保健	芸術選択
コミュニケーション英語I	化学基礎	進路特別講座
音楽I	コミュニケーション英語II	工作
基礎の数学	書道I	農作
ことば交わりI	家庭基礎	ことば交わりIII
からだI	総合技術	からだIII
産業社会と人間	ことば交わりII	キャリアデザイン
総合B	からだII	総合B
ロングホームルーム	キャリアデザイン	ロングホームルーム
	総合B	
	ロングホームルーム	

総合学科ベーシッククラス

1年	2年	3年
国語総合	世界史A	現代社会
地理A	化学基礎	科学と人間生活
数学I	日本史A	体育
体育	体育	芸術選択
保健	保健	総合選択科目
社会と情報	家庭基礎	課題研究（インターンシップ）
コミュニケーション英語I	総合技術	ことば交わりIII
基礎の数学	総合選択科目	からだIII
ことば交わりI	ことば交わりIII	キャリアデザイン
からだI	からだII	総合B
産業社会と人間	キャリアデザイン	ロングホームルーム
総合B	総合B	
ロングホームルーム	ロングホームルーム	

総合B（ロングホームルーム・自治と学び）

1年次一交わりと自治 2年次一平和と人権 3年次一進路と生き方

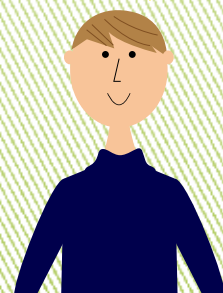
ベーシッククラスについて

- ベーシッククラスの入学試験は、中学校長の推薦のもと、1月の推薦入試で面接（生徒・保護者）と作文でおこなわれ、調査書の偏差値よりみなさん一人ひとりの学びと成長の可能性を重視する入試方法を採用しています。
- ベーシッククラスへの入学の他に、高校入学後初めから通常（一般）のクラスで高校生活にチャレンジする人のために「不登校生徒特別推薦枠」での入試も用意されています。（詳しくは募集要項をご覧ください）
- 万一、高校入学後に不登校状態となった場合、卒業に必要な単位の一定部分について通信制の教育方法を用いた単位認定ができる制度があります。（2011年4月1日付けで文部科学省の認可を受けています）



Message

自分の不登校体験を
学ぶこと・生きることの
模索に変えて



ベーシッククラスで輝いた 進路を見つけた

ベーシッククラス 2期生は25名、 3期生は22名が上級学校に進学！

2014年3月に卒業したベーシッククラス2期生の生徒たちは、入学者48名のうち25名が上級学校に進学。また、今年3月に卒業した3期生の生徒たちは、入学者47名のうち22名が上級学校に進学しました。



旭丘にしかないユニークな授業 ③

新しい自分づくりに挑戦する 「からだ」の授業

第2校地を流れる川にみんなで飛び込む、森林の中の静かな空間で木の枝をナイフで加工、睡眠のリズムと脳の働きについて知る、ゲームを通して自分の背骨の歪みに気づく…。

「からだ」の授業を通して生徒たちは、自分の身体と心や人々や自然とのかかわりのなかでとらえ直し、新しい自分づくりに挑戦しています。

現在、和光大学人間科学部心理教育学科2年生 Yくん

私は中学校1年生の6月から不登校となり、学校に行けませんでした。当時の自分は、同級生や近所の大人など他人の視線が怖くてずっと家にこもっていましたが、中学校3年生の担任の先生が「今の君でいいんだよ」と自分を認めてくれたことで一歩を踏み出し、旭丘高校の体験入学で「ここでなら再出発ができそうだ」と感じて入学しました。

学校生活が軌道に乗ると周りに目が向き、自分でもクラスのために何か力になれると感じられたことで班長に立候補し、その後、学年委員、生徒会総

務と自分の活動の場を広げていくことができました。

そして、今度は自分自身が困難を抱える仲間とかかわるようになりました。その中で、あらためて、人はそれぞれ異なった状況の中でさまざまな感じ方・考え方をしていることに気づき、その仲間の声を良く聞き、その相手の状態に合った働きかけをしていかなければならないということを考えるようになりました。実際に自分たちの働きかけを通して仲間が変わっていく姿に触れて、さらに大学で人間のことについて学んでいきたいと、進路の目標を定めました。

旭丘高校の 進学カリキュラムが さらに進化

総合学科卒業 現、東海大学文学部広報メディア学科3年 男子 Sくん

ホームルームと生徒会活動で 見つけた夢

高校のホームルームや生徒会活動で様々な人たちの生きる思いに触れ、人権の問題を意識するようになりました。そして、私学助成運動で意見表明したことがきっかけで新聞記者の取材を受け、自分もそこに生きる人たちの思いを伝える記者のような仕事をしたいと考え、進路の目標をメディア関係の分野に決めました。

進学先を決めるにあたっては高校の先生のアドバイスを受け、オープンキャンパスに積極的に参加しました。大学の先輩たちから、自分たちでラジオ番組などを制作する授業のことを聞き、魅力を感じたのがいまの学科を選んだきっかけです。進路の目標を明確にし、大学生活のイメージをつくれたから確かな進路選択ができたと思っています。

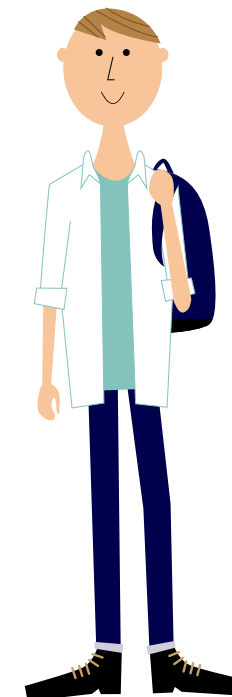
高校時代にホームルームと全校自治の活動、私学助成運動やまちづくりにも参加しました。そこで様々な人たちに出会い、他人の立場にたって考えていくことを学んだことが、いま、

たとえばラジオ番組をつくるときにリスナーの人たちの立場に立って作成する視点を自分に与えてくれていると思います。

英語力を 基礎からつけ直して自信に

受験に必ず必要な英語ですが、中学校時代はとても苦手でした。しかし高校1年のとき、英語の先生が基礎から積み重ねる学習を教えてください、スピーチコンテストの出場など、英語をコミュニケーションに活用する機会をつくってくれました。それで英語が好きになって自信がつき、受験の大きな力にもなりました。大学でも、英語の授業では苦労していません。

旭丘高校は、学ぶ意味や生きる意味をきちんと考えさせてくれる学校だと思います。いまは新たなステージで高校時代に培った問題意識を様々な発展させているので、教えられる立場だった高校時代とはまた違ったスタンスで、母校とかかわり、学ばせてもらうとともに、母校の発展を見守って行けたらいいなと思っています。



Message

将来の夢発見 確かな進路選択
大学で生き生き学ぶ
卒業生からのメッセージ



3年間のキャリア教育で拓く 生き方と進路・進学

3年間の高校生活を通して私たち生徒が自立し、社会や政治と向き合って、進路・職業の選択を実現していく。そのために、各学年に参加・自治・学びの活動に関わるテーマが設定され、教育課程全体を通してキャリア教育が展開されています。

1年次のテーマは「交わりと自治」、2年次は「平和と人権」、3年次は「進路と生き方」です。

1年次に培った人と共同して問題を解決する力で、2年次には視野を大きく社会や歴史に広げ、ナガサキ修学旅行を節目に平和や人権、環境問題と向き合います。3年次には、それまでの学習や社会参加で身につけた社会観・職業観・労働観を土台に、職業選択や進学先の選択をしていきます。

1年次

友と交わり、自治を学ぶ 自立した高校生活の土台を築く

生徒会の方針のもと、ホームルームを基盤に体育祭・文化祭・社会見学・修学旅行・卒業を祝う会などの行事に取り組みます。生徒自身が目標を立て、クラス全員の活躍の場所をつくる企画を工夫。日常の授業やホームルーム活動と行事が結びついた充実した高校生活で、人と交わる力、社会的自立の基礎を培います。

2年次

平和と人権 ナガサキで人類の過去・現在・未来を考える

2年次には、長崎修学旅行を節目に、「核と平和」の問題に視野を広げ、被爆の実相や「核兵器のない世界」を目指す国際的な動向に触れ、人類史の到達点としての「平和のうちに生存する権利」を学びます。

ナガサキ平和学習は、原爆を自然科学・社会科学の両面からとらえた学習、亡くなった被爆者の方の数（7万数千羽）を目標とした折り鶴づくり、事後の50字メッセージや合唱構成詩づくりなど、年間のカリキュラムをもった本校独自のユニークな総合学習です。

3年次

進路と生き方 高校生活で培った自立の力で、 未来への航海に旅立つ

仲間との共同や地域・社会と向き合う学びで培った「手をつなぐ力」「平和を愛する力」「物事を科学する力」等を土台に、人類社会や日本、地域の未来の見通しをつかむ（「大きな進路」）とともに、自らの具体的な進学先・就職先等（「小さな進路」）を決めます。大学の先生や企業の方を招いての進路ガイダンスや、三者面談から履歴書の書き方・面接の仕方まで旭丘高校の先生方によるていねいな進路指導がなされます。



student
VOICE

人と繋がる大切さを学んだ文化祭

総合学科 男子 Oくん

東日本大震災の復興が途上にある中で、新たな自然災害に遭遇した社会状況の中で、「共に生きる」をスローガンに文化祭が取り組まれました。小田原のハザードマップを手づくりで完成させ、地元の食産品を生かした模擬店に取り組み、沢山の人たちと交流できた文化祭でした。一緒に行動する事の大事さを伝えあう中で改めて仲間の大切さ、人と繋がることの大切さを文化祭の取り組みを通して学んできました。

student
VOICE

目で見て肌で感じた平和の大切さ

総合学科 2年 女子 Hさん

長崎修学旅行では、実際現地に行ってみて原爆の威力やその残した傷を感じました。それまで自分には関係ないもののように思っていた私ですが、被爆者の方の話を聞いてあらためて戦争の悲惨さを感じ、自分たちがちゃんと知り、未来のためにも考えなければならない問題だと気づきました。自分の目で見て、肌で感じられたのは貴重な体験でした。

student
VOICE

仲間とぶつかり合った体験が 人と協力する力をつくった

普通科 卒業生 女子 Yさん

私はいま製造にかかわる仕事をしています。高校時代のホームルーム活動で、生い立ちや個性の違う仲間とぶつかり合いながら、相手を認めようとし、つながろうとした体験がいま、職場の人たちと協力して仕事をしていく力になっています。厳しい就職難の時代に、履歴書の書き方から面接の仕方まで、私の就職活動を指導し支えてくれた先生たちに感謝しています。

最近の進路状況

大学

青山学院大学
大妻女子大学
愛知淑徳大学
亜細亜大学
桜美林大学
学習院大学
神奈川工科大学
神奈川大学
関東学院大学
神田外国語大学
京都女子大学
上智大学
国士舘大学
相模女子大学
産業能率大学
順天堂大学
松蔭大学
湘南工科大学
西武文理大学
専修大学
城西国際大学
拓殖大学
千葉科学大学
千葉商科大学
多摩大学
鶴見大学
帝京大学
田園調布大学
東海大学
東京工芸大学
東京女子体育大学
東京農業大学
東京福祉大学
東京未来大学
東京理科大学
東洋大学
日本体育大学
日本文化大学
文教大学
筑波大学
帝京平成大学
ニューヨーク州コプス技能工科大学
ヒューマン国際大学機構
北海道情報大学
明星大学
立教大学
ものづくり大学
横浜薬科大学
和光大学
復日大学（中国）
R I J
横浜美術大学

短期大学

小田原女子短期大学
鎌倉女子短期大学
カリタス女子短期大学
港湾職業能力開発短期大学横浜校
相模女子大学短期大学部
湘北短期大学
白梅学園短期大学
鶴川女子短期大学
鶴見大学短期大学部
東京交通短期大学
東京農業大学短期大学部
帝京大学短期大学部
文教大学女子短期大学

専門学校

横浜女子短期大学
山野美容芸術短大
横浜創英短大
専門学校
J T B トラベル専門学校
Y M C A 健康福祉専門学校
アーツカレッジ横浜
アイム湘南美容専門学校
厚木高等専修自動車学校
アミューズメントメディア総合学院
アルファ福祉専門学校
岩崎学園情報科学専門学校
大原簿記情報ビジネス専門学校
大原簿記法律
小澤高等看護学校
小田原ファッションアカデミー
カコトリミングスクール
神奈川社会福祉専門学校
神奈川情報専門学校
関東美容専門学校
國學院幼児保育専門学校
神奈川ビジネスカレッジ
ホスピタリティ
ツーリズム
ヤマザキ動物
読売理工医療福祉専門学校
アティスティック B
国際動物専門学校
国際フード専門学校
国際ペットビジネス
崎村調理師専門学校
湘南平塚看護専門学校
湘央医学技術専門学校
情報科学専門学校
東急自動車
東京 I T 会計法律専門学校
東京観光専門学校
東京工学院
東京工科専門学校
東京コミュニケーションアート
東京スクールオブビジネス
東京誠心調理
東京ダンス&アクターズ
東京調理師専門学校
東京テクニカルカレッジ
東京デザイナー
富士メカニク
中央工学校東京電子専門学校
東京ビジュアルアーツ専門学校
東京保育福祉専門学校
東京メディアアカデミー
東京豊島医療福祉
日産自動車大学校
日産メカニクビジネス
日本ガーデンデザイン
日本工学院専門学校
日本工学院八王子
日本ヒューマンセレクト
日本ペット&アニマル
白寿医療学院
服部栄養専門学校
東放アナウンス学院
東放学園ミュージックカレッジ
ビジョナリーアカデミー
平塚湘南看護専門学校
ふれあい横浜専門学校
文化服装学院

主な就職先

敷島製パン
品川鐵工場
下田商会
湘南テクノサービス
湘南福寿会
湘南ユニテック
シンノウ
新和電設
須藤製作所
図南鍛工
スリーハンドレッドクラブ
瀬里奈
相栄フーズ
ダイナック
森紙業
ヤオマサ
湯河原老人ホーム
宝製菓
たまや
千歳観光
千歳自動車工業
ちばり
燕化学工業
テクノステート
東京ラジエーター製造
ニッキ
日興電機工業
日産工場
日本インター
日本自動車精機
日本精工
日本トーカンパッケージ
日本ピアメカニクス
ヤマダ電機
山翠楼
横浜機工
日本プレス工業
ニュークイック
原田鍛工所
東建ナスステンレス
日鍛バルブ
日立オートモティブシステムグループ
均昌閣
日総工産
日本オブネクト
ファイブオックス
ファミリー引越センター
富士商工
不二家秦野工場
不二家平塚工場
プリンスホテル
南関東日立物流サービス
モザミトータルビューティー
ヤマシタコーポレーション
NS K マイクロプレジジョン
アール
足立機業製作所
アロハ歯科クリニック
石川島運
搬機械
いすゞ自動車
イチコー
伊藤製パン
井上製作所
エコー商事
オービーエム管財
神奈川ダイカスト工業
ホテルおかだ
ホテル楽々花
ホンマ
マルイ工業
みずほ野
ミノン
ユータカラヤ
横浜高周波工業
神奈川ミートパッカー
カナミヤ食肉商事
カネボウ化粧品
神尾食品工業
神奈中システムプラン
木曽路
北澤工業
共栄製作所
銀座コージーコーナー
グッドイーティング
グリーンライフ湘南
京急ステーションサービス
国際警備
コスモネット
小松会病院
サカイ引越センター
相模ボデー
宮沢紙工
郵便事業
横浜ゴム
三池工業
三不二超硬



グローバル教育 生徒の地域参加 新しい学びを創造する 学校参加・社会参加

“Think Globally, Act Locally”
(地球規模で考え、地域で行動する)

世界に視野を広げ、地球市民として生きる

国や言葉が違っても心は通う
世界平和の願いを強めた中国との国際連携教育



私たちの学校では、学園創立110周年を機に国際連携教育として中国の西安外国語大学附属外国語学校との高校生文化・スポーツ交流が始まりました。昨年は、3月21日～25日まで校長先生を団長とする第1次訪中（引率教師4名、生徒7名）が相撲と演劇部による日本文化にかかわる交流をし、今年は3月23日～28日まで、第2次訪中をし、剣道と書道にかかわる交流を西安外国語学校に加えて新たに安陽第37中学校との間で行いました。（校長先生を団長に引率教師5名、生徒6名）そして、4月3日～8日には、西安外国語学校の中学生・高校生計10名が西安外国語学校副校長と日本語担当教師1名の引率で来日・来校してスポーツ・文化交流を行うとともに、酒匂川にある中国の治水神「禹王」の事績を見学し地域交流を行いました。

旭丘の生徒は、ホームルームや学科・学年の生徒集団を基盤とした生徒会活動を通して、全学協議会や全学教育研究集会、公開まちづくりシンポジウムなどに参加。さらに、無償教育を展望した公費助成運動や地域一斉清掃活動、東日本大震災被災地ボランティア活動などに取り組んでいます。

生徒自身が自治の力に支えられて、学校づくりと結んだ地域づくり・まちづくり・国づくり、国際交流などの活動を通して、自分たちの「新たな学び」を創造しています。

student
VOICE

深くて長い日中の絆
友好の歴史が見えた

総合学科 3年生 男子 Mくん

4月に私たちは、中国から来日・来校した中学生・高校生10人の皆さんと中国の古代王朝・夏の禹王（文命）が祀られている南足柄市・酒匂川の文命東堤碑を見学しました。中国の治水技術が日本に伝わり人々の生活を支えたこと、そのこととかわって治水神としての禹を讃える碑が日本全国に60箇所以上もあることを知りました。

今回の来日メンバーの中には私がホームルームスティでお世話になった中国の高校生Bさんがいました。私たちは、国や言葉、文化の違いを越えて人として信頼し合えると感じて来たことを語り合いました。そして、Bさんは「こんなに深くて長い日中の絆、友好の歴史が見えて感動しました。ですから、こうした事実を、もっとみんなに知らせ、中国と日本をつなぐ架け橋として行きたい」と言ってくれました。今回の交流では、人と人の関係から更に視野を広げ、国と国との関係について考える貴重な機会をもらいました。

生徒も参加しみんなでつくる学校 全学協議会と全学教育研究集会

全学協議会は、生徒会・PTAの保護者・神奈川父母懇談会旭丘支部（卒業生父母）・教職員・同窓会・学園（理事会・評議員会）の代表と事務局（六者懇談会）で構成されています。みんなが対等・平等に、授業・カリキュラム、校則、施設・設備、学校とまちづくりのことなど、学校にかかわる様々な問題にそれぞれの立場から意見交換をし、討議を深めます。

1961年から毎年積み重ねられてきた全学教育研究集会は、私たち生徒や父母も参加し、公開研究授業を参観してより良い授業・カリキュラムづくりについて話し合う場です。シンポジウムなども開き、新名学園私学教育研究所の研究者の方たちからもアドバイスを受けます。

PTA会長のことば

地域に支えられ、さらなる発展を

PTA会長 青木敏江さん

生徒たちが、自分たちの言葉で自らの成長やホームルーム集団の変化について語っている姿にとっても感銘を受けます。自分たちの学びや成長が、大人たちの共同や社会全体の力で支えられていると感じることで、生徒たちは自分たちの利益のためでなく、人や社会の役に立つために学び仕事をしたいという自覚を深めています。学校参加・社会参加の活動は、生徒たちに社会の主権者となってゆくための力を確実に育てています。

自分たちの未来と地域やまち・国の未来を
一つにして考えられるような学びを

（前生徒会長Hさんの市長懇談での挨拶から）

このたび、史跡の緑と私たちの学習環境の問題が、「史跡と学校の共生」を図る視点で解決の方向性がつけられ、全校生徒の願い・要求の実現が大きく進んだことをとても嬉しく思います。引きつづき学校と市の連携と協議を進め、史跡と学校の共生に関する様々な課題について、私たち生徒会の生徒や学校の先生方や関係者の皆さんの意見を聞き、合意をつくって解決を図っていただくようお願いします。

私たちは史跡と緑に囲まれたためぐまれた環境の中で自治・参加・学びの活動を深め、誇りある、地域の皆さんと市民に愛される学校をつくって行きます。私の任期は終わりますが、これからも、地域や市民の皆さんとの対話や共同の場に積極的に参加し、自分たちの未来と地域やまち・国の未来を一つにして考えられるような学びを深めていく活動を後輩たちに引き継いで行きます。



自分たちの意見が尊重されるからこそ
学校や社会をつくる責任を感じた

総合学科 3年 Fくん

以前の私は、自分の意見を言うことを恐れ、人の顔色ばかり気にしていました。そんな自分が、学校や社会の問題について自由に意見を言う先輩たちの姿にあこがれ、生徒会の活動に参加しました。全学協議会や全学教育研究集会等の場で自分たちの意見が尊重され、人として対等に扱ってもらえることを実感し嬉しく思いました。だからこそなおさら、自分たちも学校やまち、社会をつくっていく一員としての責任を持っているのだの自覚が芽生えて来ました。

小田原のまちと学校の未来を
みんなで考えた

5.23公開まちづくりシンポジウム

旭丘高校は、地域の文化センター・防災センターとして、地域と共育ちする学校です。今年5月23日には、「子ども・高校生の声に聴き、小田原の明るい未来を考える一住み続け、学び続けられるまちづくりと地域創生・人口減少問題、共に生きるまちづくりと史跡・学校の共生問題」をテーマに、第24回公開まちづくりシンポジウムを開催しました。全学の関係者と多くの市民・地域住民や議会・行政関係者の参加を得て、「学校づくり・まちづくりに参加して感じ、考えたことー現在（いま）と未来を生きる高校生としてー」と題した生徒会の特別報告と共同研究者からのコメント、フロアー発言による討論がなされました。

同窓会長のことば

建学の精神が生きる発達保障を図る教育

同窓会長 岩田公子さん

全学協議会や全学教育研究集会に参加するたびに、生徒と先生、保護者が共に対話し協力し合って教育や学校の未来を探究している姿に感銘を受けます。技の習得を通して社会的自立の力を培うとした新名魂を大切に、これからも学園が地域に支えられるとともに、地域社会を土台から支える人材を送り出し続ける公教育機関として発展することを期待しています。

Club Activity

仲間とともに課題にチャレンジ 団結と達成の歓喜 ―クラブ活動

全国に飛躍する 「相撲部」



運動部

剣道部
バスケットボール部
ソフトテニス部
硬式テニス部
弓道部
卓球部
ダンス部
陸上部
野球部
サッカー部
ボウリング部
バレーボール部
バドミントン部
水泳部
スキー部
相撲部
ラグビー同好会
AFC（釣り）同好会



相撲道を生かし、更にもっと 大きな世界を視野に入れた人生を

総合学科 卒業生 男子 Tくん

高校3年間、相撲部の武訓である「流汗悟道」「文武両道」「勇往邁進」「感謝する心」「整理整頓」の五つを常に心がけ、基礎トレーニングや技術面など多くのことを顧問の先生よりご指導をいただき、稽古を重ねる中で、インターハイや国民体育大会で優秀な成績を残すことができました。昨年の3月に中国の西安で中国とアメリカと日本と3ヶ国の高校生で相撲を通して交流できたことも、とても貴重な経験となりました。現在は日本体育大学の武道学科で日々精進しています。これからも相撲道を生かし、更にもっと大きな世界を視野に入れた人生を歩んで行きたいと思っています。



歌を通して人と人が 共感することの素晴らしさを

普通科 卒業生 女子 Gさん

私は子どもの頃から歌うことが大好きで、高校3年間軽音楽部に所属して活動しました。委員会活動と部活動に積極的に取り組むなかで、人とコミュニケーションを取る事に楽しさを感じるようになり、私が歌うことが好きなのは、人と人が共感する事の素晴らしさを感じていたからだ気づきました。修学旅行で平和の唄を指揮したり、軽音部で仲間とバンドを組んだ日々はとても有意義でした。特に3年生になって、母親も来てくれた文化祭の野外ステージで歌い、文化人大賞を頂いた事は素敵な思い出です。いま、将来ボイストレーナーになりたいとの夢を持って専門学校で音楽を学んでいます。



文化部

音楽部
軽音楽部
家庭部
プラスバンド部
生物部
簿記部
環境公害研究部
美術部
イラスト部
書道部
和太鼓部
演劇部
陶芸部
茶道同好会
文芸画像研究
交通研究部
写真同好会
ティーコーディネイト同好会
AAC（農業）同好会
児童文化部



活躍にスポットライト 「演劇部」



Campus キャンパス紹介

第1校地(城内キャンパス)

緑あふれる小田原城跡と共生 都市型学校

小田原駅に近く、お城の緑があふれる第1校地は普通科の拠点。冷暖房完備で落ち着いて勉強ができる校舎。バリアフリーで地域の防災センターとしての役割も。「小田原のまちが教室」のイメージです。

特色

- 小田原駅から徒歩5分
- 史跡の緑に囲まれた校庭
- 小田原城跡内にある冷暖房完備の近代的校舎
- 高校への進学ガイダンスが充実した入試センター・相談室を常時開設
- バリアフリー施設完成
- 地域の防災センターとなる耐震性に優れた建物
- 新名学園私学教育研究所、400人収容の多目的ホールなど、地域の教育・文化センターの機能アップ
- 安心・安全の施設
- 第1、第2校地ともパソコン100台ずつ配備
- 主に普通科の「学び」の根拠地



バリアフリー施設



地域防災倉庫を併設



屋上庭園

第1校地の主な施設・設備

- 第1校舎／2000年9月完成（エレベーター付4階建て）
 - 1階 ホール・ホワイエ（総合学習・身体表現・地域交流・食事・憩いの場）
 - 2～4階 普通教室・ゼミナール室・新名（百周年）記念会館（会議室、同窓会室、地域防災庫）
- 第2校舎／2001年8月耐震改修完了（4階切り取り耐震補強）
 - 地階 生徒会室・PTA・父母懇談会・六者懇談会室
 - 1階 事務室・来賓応接室・入試センター・法人事務室・カウンセリング室・新名学園私学教育研究所
 - 2階 職員室・保護者面談室・放送室・印刷室
 - 3階 教室
 - 屋上
- 第3校舎／2001年3月耐震強化・改修完了
 - 1階 図書室・調理室
 - 2階 コンピュータ室（I）（II）・芸術教室（書道・美術）
 - 3階 理科実験室
 - 4階 音楽室・被服室・ホール
- 第4校舎／1999年8月完成
 - 1～3階 普通教室
 - ※全棟耐震構造化・空調完備 ※バリアフリー施設 2008年4月完成
- 体育館／改修2006年度完了
 - 2階建て、器具庫、シャワー室付

student
VOICE



落ち着いた雰囲気の 旭丘の学舎

普通科 3年 男子 Hくん

城内キャンパスは、お城の緑に囲まれた落ち着いた環境です。校舎は私たち生徒や地域の人たちの意見を取り入れて設計されたもので、廊下にはちょっと座って友だちや先生と懇談できるスペースが設けられていたり、階段を登るときお城がよく見えるように工夫されていたりします。また、地域の人たちと一緒に研究会や集会やできるホールや、私たち生徒と地域住民のための防災倉庫も設置されています。



充実したコンピュータ・情報教育

第1校地・第2校地ともに100台以上のパソコンが設置されています。コンピュータと情報の教育が重視されています。情報・通信機器を使いこなすスキルとともに、パソコンの仕組みや生活、社会的生産に果たしている役割を学びます。



Campus キャンパス紹介

第2校地(久野・荻窪キャンパス)

自然と共生 地域と触れ合う教育システム

緑の木々に囲まれて、広々としたグラウンド。第2校地は総合学科の拠点。陶芸や農業などユニークな授業も充実。あふれる自然のなかでのユニークな授業は、日々の生活に生気を取り戻させてくれます。

特色

- 小田原駅からスクールバスで15分
- キャンパス総面積 5万9460㎡、
うち運動場面積 2万3501.07㎡（他農業実習地3471.07㎡）
- 緑豊かな立地条件を生かした教育機能整備
- 地域との関係を意識した学校づくり
- 新しい教育システムに対応したカリキュラムづくり
- 主に総合学科の「学び」の根拠地

第2校地の主な施設・設備

【中央センター】

鉄筋コンクリート造及び鉄骨造（エレベーター付）、地上4階・地下1階、床面積8470.20㎡

■1号棟／2005年4月竣工

教室 大セミナー室・中セミナー室・小セミナー室（準備室）
特別教室 調理室・試食室・情報室・資料教材室・図書室・視聴覚室・実習室
管理施設 校長室・職員室・面接室・応接室・事務室・用務室・倉庫

■2号棟／2007年8月竣工

教室 小セミナー室（準備室）、学習室（キャリアカウンセリング室）
特別教室 共同厨房・収蔵庫・生徒食堂・調理実習室・食農教育準備室・
総合技術科（情報室・製図・デザイン室）・自然科学系実習室・
教材室・カウンセリング室
管理施設 会議室・倉庫

【体育館】

鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、地上3階、床面積1958.76㎡

■アリーナ

バスケットコート2面、バレーコート2面、バドミントンコート6面、
卓球室、多目的室（ダンス等）、視聴覚室、体育科準備室
※アリーナには床暖房設備整備

【総合学習室】

■1～2号棟／2002年3月改修整備

工作・木工など手しごと・ものづくりの実習室

■3～4号棟／2014年改築

武道場（相撲・剣道）

■5号棟／2003年4月竣工

陶芸実習施設（電動ろくろ）、窯室・教材準備棟／2003年8月竣工

【農業実習地】

■食農教育・総合学習実習施設（農具庫と畑）

■無農薬野菜栽培実習施設



総合技術 製図・デザイン室



総合グラウンド 100m走 8レーン



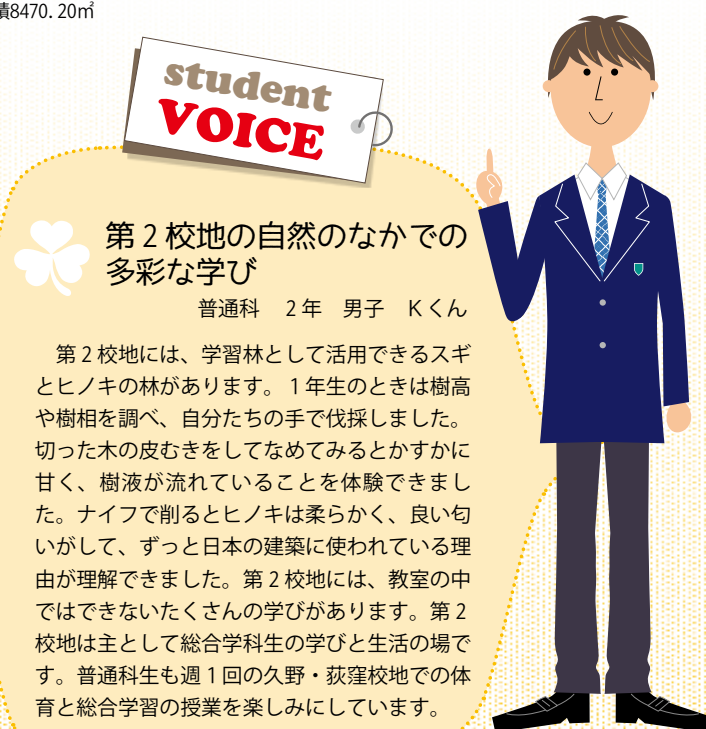
床暖房付き 3階建て アリーナ



相撲場



情報機器完備図書室



第2校地の自然のなかでの 多彩な学び

普通科 2年 男子 Kくん

第2校地には、学習林として活用できるスギとヒノキの林があります。1年生のときは樹高や樹相を調べ、自分たちの手で伐採しました。切った木の皮むきをしてなめてみるとかすかに甘く、樹液が流れていることを体験できました。ナイフで削るとヒノキは柔らかく、良い匂いがして、ずっと日本の建築に使われている理由が理解できました。第2校地には、教室の中ではできないたくさんの学びがあります。第2校地は主として総合学科生の学びと生活の場です。普通科生も週1回の久野・荻窪校地での体育と総合学習の授業を楽しみにしています。



「高校の授業って楽しい!」と実感 体験入学セミナーへどうぞ



先生だけでなく、
生徒や保護者の話も聞けます
一人ひとりにていねいな
ガイダンスの場も

7月25日から来年1月9日まで、隔週土曜日、
合計11回の体験入学セミナーが開催されます。日
程はこのパンフレットの裏表紙に載っていますの
でご覧ください。また、別途体験入学セミナー紹
介パンフレットや、中学校の先生を通してお届け
する案内（毎回の詳しい講座紹介）も参考にして
ください。

1 セミナーと特設説明・相談会

ユニークな授業を受講していただきます。在校
生が参加する講座もたくさん。今年度は、進学ク
ラスや不登校生徒ベーシッククラスの特設説明・
相談会（ミニ授業、先輩たちとの交流、担当教員
によるガイダンス・相談）を同時開設。普通科の
カリキュラム改革「クリエイティブクラス」につい
ての特別説明やクラブ紹介のセミナーもあります。

2 全体会

学校長から旭丘高校の教育のコンセプト説明。
生徒・保護者の生の声も聞けます。

- 学校長のあいさつ
- セミナーに参加した生徒・保護者の皆さんの
感想紹介
- 生徒と保護者による学校紹介
- 入試要項や日程の説明（副校長）

3 地区別相談会

みなさんが居住する地区ごとの相談会。旭丘で
の学習や学校生活への質問、入試への不安など、
聞きたいことに地区担当の先生がていねいに答
え、個別相談に応じます。



自分の成長を語る
生徒たちの姿に感激

中学生の保護者・父

全体会では、校長先生をはじめ子どもと保護者に熱心に向
き合ってくれる先生方、子育ての悩みと喜びを率直に語る保
護者の方々の姿が印象的でした。そして何より、在校生のみ
なさんが不登校の体験等の言いづらいこともありのままに話
してくれたことに感動と共感を覚えました。そして、「そう
した自分がこの学校で変わった!」と自信を持って発言する
姿に、親子ともに勇気をもらいました。

高校生活への不安が希望に変わった

中学校生 女子

セミナーの講座は、あえて苦手な英語の講座に挑戦してみま
した。やってみると、苦手な私でも、歌にしてリズムをとれば、英語
をすらすら話すことができました。相談会でも、先生方が
旭丘高校の入試や学校生活のことについて詳しく教えてく
れて、自分なりの高校生活のイメージを持つことができ
ました。先輩たちの生き生きした姿も印象的で、自分
の中の高校生活への不安が希望に変わりました。



入試相談室

城内キャンパス（第1校地）に常時開設

- 旭丘高校の学校生活紹介 ― 在校生にも話
を聞けます。
- 旭丘高校の入試情報をわかりやすく説明
- あなたに合った高校生活と進路・進学プランづくりを
サポート
- ※相談のお申し込みは、旭丘高校事務室（0465-24-2227）
まで、お気軽にどうぞ。

いつでも
何でも
相談できます



授業料・学費支援制度の紹介 「無償教育」の考え方が 旭丘高校の基調です

私立高校生にも手厚い「学費支援制度」があります！
学費の不安や悩みも体験入学セミナーなどでご相談を

Q1 公立高校の授業料は年収約910万円未満の世帯は実質無償に
なっていますが、私立高校の学費負担は軽減されないのでしょうか？

A1 国の費用により、私立高校等の生徒の授業料に充てる「就学支援
金」が、年収約910万円未満の世帯には一律に月額118,800円（月額：
9,900円ー公立の授業料分相当の額）が支給され、また、保護者の所得によって
さらに加算額（年収250万円未満程度は2.5倍、年収250～350万円未満程度は2
倍、年収350～590万円未満程度は1.5倍）が支給されます。

また、その他に、①私立高等学校等生徒学費補助金、②私立学校生徒学費緊
急支援補助金③神奈川県高等学校奨学金（貸付）、④その他の貸付制度（母子寡
婦福祉資金、社会福祉協議会の教育支援資金、県内市町村の奨学金制度、国の
教育ローン等々）等があります。

Q2 私立高校生への県からの「学費補助金」について、教えてください。

A2 ①前年の所得金額が、一定額以下の保護者に対して、県が学校に
補助します。②対象者は、神奈川県内の私立高校に在学し、かつ生
徒と保護者が共に県内に在住していることが条件になっています。③「就学支
援金」と併用して利用できますので、この「学費補助」とあわせ、所得区分に
応じて、月額最大372,000円から193,200円の幅で支援されます（学校の授業料
額が上限です）。

Q3 授業料負担がかなり軽減されることは分かりましたが、「入学金」
や「施設拡充費」の支援策は、ないのですか？

A3 授業料だけでなく、入学金についても「学費補助金」として
100,000円が支援されます。また、「モデルケース」に示したよう
に、「社会福祉協議会教育支援金」や「母子寡婦福祉資金」など入学準備のため
の公的支援（貸付）制度があります。
※国の就学支援金と県の学費補助の所得区分ごとの金額については、表をご覧
ください。



後期中等教育（高等学校段階）での学費無償
化導入は、国際人権規約第13条にも定められて
います。旭丘高校は子どもを「社会の宝」と
し、国民みんなでお金（税金）と力を出し合っ
て未来の主権者を育てていく「無償教育」の考
え方を学校運営の理念としています。学園・保
護者・同窓生・地域で協力し、国や県の就学支
援制度・学費補助制度を充実させてきました。

●その他にこんな制度があります

- ①「神奈川県高等学校奨学金」制度
（貸与制） 一月4万円
 - ②「神奈川県私立学校生徒緊急支援補
助金」制度（給付制）
 - ③母子寡婦福祉資金（貸与制）
 - ④社会福祉協議会・生活福祉資金
 - ⑤国の教育ローン
 - ⑥その他の奨学金制度―あしなが育英
奨学金など
- ※旭丘高校独自の「新名奨学金制度」
もあります。年間14万4000円を貸
与。卒業後2年以内返還する制
度です。

学費の問題で私学への志願を 迷っている方へ

ここに紹介した国の就学支援金制度
と県の私立高等学校生徒学費補助金を
活用することで、今年度以降に私立高
等学校に入学する皆さんについては、
年収350万円未満程度の世帯に対して
は授業料が無償に、年収350～590万円
程度の世帯では月額7,550円に軽減さ
れます。また、県内に在住の場合には、
年収約750万円未満の世帯の方には、
入学金に対して県から9,000円の
補助が受けられます。

旭丘高校では、入学金や施設拡充費
等、入学時納入金の準備が困難な方
に、様々な学費支援制度を紹介し、こ
のような制度の活用によって納入の見
通しが立った場合には、入学時納入金
の延納措置についても相談に応じてい
ます。

詳しくは、体験入学セミナーや学校
説明会の機会にご相談いただくか、入
試センターへお問い合わせください。

建学の精神と 「新総合計画（ビジョン21ー旭丘）」

学園創立113周年

新名学園旭丘高等学校は、1902（明治35）年に城下町小田原の地に創設され、今年で創立113年を迎えます。

創立110周年を超えた私たちの学園は、建学の精神の今日的意義と教育目標の発展的課題をたずねつつ、次の10年（創立120周年）に向けた「新総合計画（ビジョン21ー旭丘）」を策定し、「地域立・市民立」の私学の構築と「公費私学（公営私学）」の創造にチャレンジしています。

21世紀の現在、平和・人権・共生などが人類共通の地球規模の課題となっています。このときにあたり、私たちの学園では多様な教育要求・教育課題に応えるため、青年期教育に重点をおき、子ども・生徒の人間の成長と全面的発達、社会的自立を図っていきます。

具体的には、普通科の単位制化とクリエイティブクラスの発展、総合学科・普通科の共通履修科目の内容充実と選択講座の拡充を進めています。また、新たな青年期教育・中等教育の一環として、本校独自の「中高連携教育」と高等学校における「専攻科設置」、幼保連携の「子ども園」設置も構想しています。

新名学園私学教育研究所— 5つの研究課題—

新名学園私学教育研究所は2009年10月に設置されました。次の5つの研究課題のもと、子ども・生徒や保護者、教職員の現実の課題と結んだ研究活動が進められています。

- ①私学と無償教育と公費私学創造の課題。
- ②子ども・生徒の発達研究。（建学の精神・教育目標にそって）
- ③日本国憲法の平和的生存権の保障、核兵器のない世界に向けた平和教育創造の研究。
- ④地球環境と地域環境の問題についての研究。
- ⑤小田原のまちづくりに係る「学校と史跡の共生」「小田原のまちな教育・文化の創造」の課題。

新名学園 旭丘高等学校 学園総合整備計画のあゆみ（創立 113 年のあゆみ）

1902年	1903年	1906年	1923年	1946年	1947年	1949年	1953年	1954年	1956年	1961年	1970年	1981年	1986年	1989年	1994年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2007年	2009年	2010年	2012年	2014年							
学園創立（裁縫・造花・編物伝習所の開設）	私立学校法（公の教育機関 神奈川県知事の開設）	開業大蔵火災・校舎全壊、同年復興	●日本国憲法公布	●教育基本法制定	●私立学校法施行	普通科開設	現・小田原市市民会館にある校地から現在の第1校地・城内キャンパスに全校移転完了	学校法人新学国旭高等学校として認可	同年、箱根研修施設完成	商業科開設の（総合学科に発展移行）	●私立学校振興助成法制定	第1校地・第一次現状変更認可申請（現三棟）	学園総会整備構想（のち計画策定）	●国連第44回総会（子どもの権利条約採択（1994年国合批准）	（学校と史跡の共生・地域文化センターづくり）	第1校地第2次現状変更許可申請・全島改革・改修耐震工事	旭丘高校の教育を守る会の設立	○「高等学校設置基準問題」	教育目標改訂（現行）、男女共学制復活実施	第2校地取得	第1校地第1期総合整備完了	創立70周年記念式典挙行・総合学科開設、	第2校地・久野・狹蓬キャンパス・総合棟完成	学園総合整備中期全土計画策定	全学協議会結成	第2校地中央センターⅠ・Ⅱ期計画整備完了	第2校地中央センターⅢ期計画及び体育館完成	新学学園「私学教育研究所」設立	●私立高校就学支援金制度（公立高校授業料無償）	創立70周年記念式典挙行	「新総合計画」策定	第1校地・第2校地総合整備構想（2022年構想とその中間政策	第2校地武道場・剣道・相撲設置・制服改定	国際連携教育（中国西安外国語大学と交流開始）



